



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月24日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200
 四半期報告書提出予定日 2019年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年3月21日～2019年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,319	8.5	836	11.5	910	9.8	580	19.8
2019年3月期第1四半期	8,590	△0.4	750	△13.3	829	△8.6	484	△21.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 503百万円 (△6.3%) 2019年3月期第1四半期 537百万円 (△20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	28.79	—
2019年3月期第1四半期	20.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	54,386	41,703	76.1
2019年3月期	67,253	54,546	80.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 41,400百万円 2019年3月期 54,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	24.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年3月21日～2020年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	18,103	3.2	1,607	△9.0	1,572	△12.9	1,074	△54.3	53.29
通期	36,304	0.7	3,323	△14.9	3,251	△17.0	2,435	△40.8	120.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	25,607,086株	2019年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	8,440,321株	2019年3月期	2,442,821株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	20,165,349株	2019年3月期1Q	23,159,961株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用情勢の改善は続いているものの一部では企業収益に足踏み傾向が見られました。また、個人消費は底堅く推移しているものの消費マインドは弱い状況が続いており、先行きについては不透明な状況で推移しております。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しており、前年度末までの新設住宅着工戸数は概ね横ばいの状況で推移しておりましたが、当年度に入ってから減少に転じる等、弱含みで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開した結果、売上高は過去最高の93億19百万円と前年同四半期に比べ7億29百万円(8.5%)の増収となりました。利益につきましては、原材料単価の上昇等があったものの増収効果等により、営業利益は8億36百万円と前年同四半期に比べ85百万円(11.5%)の増益、経常利益は9億10百万円と前年同四半期に比べ80百万円(9.8%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5億80百万円と前年同四半期に比べ96百万円(19.8%)の増益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキSS」やその附属品に加え、多種多様な製品を取りそろえる硬質ビニル電線管「J管」やその附属品等の電線管類及び附属品が増加しました。管材では、排水の流れをスムーズにできる通気弁「通気スイスイ」が増加しました。その結果、売上高が69億37百万円と前連結会計年度に比べ3億53百万円(5.4%)の増収となりました。営業利益は原材料単価の上昇等があったものの増収効果等により、6億56百万円と前連結会計年度に比べ1百万円(0.2%)の増益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、意匠性の高い配線器具「NK SERIE」の増加に加え、電材ルートへの活発な営業活動により「J・WIDE」等の配線器具が堅調に増加した結果、売上高が14億64百万円と前年同四半期に比べ64百万円(4.6%)の増収となりました。営業利益は増収効果等により1億18百万円と前年同四半期に比べ6百万円(5.9%)の増益となりました。

(省力化機械及び樹脂成形用金型)

省力化機械及び樹脂成形用金型につきましては、自動車関連向けの樹脂成形用機械が堅調に増加した結果、売上高が5億41百万円と前年同四半期に比べ2億59百万円(92.0%)の増収となりました。営業利益は増収効果等により1億44百万円と前年同四半期に比べ72百万円(100.3%)の増益となりました。

(その他)

その他につきましては、「データセンター」が堅調に推移した結果、売上高が3億76百万円と前年同四半期に比べ52百万円(16.3%)の増収となりました。営業利益は69百万円と前年同四半期に比べ16百万円(30.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて128億66百万円減少し、543億86百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得に伴い現金及び預金が123億78百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、126億83百万円となりました。その主な要因は、法人税等の納付により未払法人税等が4億29百万円減少、支払手形及び買掛金が91百万円増加、短期借入金及び長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて128億42百万円減少し、417億3百万円となりました。その主な要因は、自己株式取得に伴い自己株式が127億70百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,580	13,201
受取手形及び売掛金	10,671	10,587
有価証券	997	1,497
商品及び製品	3,792	3,775
原材料及び貯蔵品	1,179	1,212
その他	849	977
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	43,051	31,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,102	6,034
機械装置及び運搬具(純額)	2,763	2,726
土地	5,426	5,418
建設仮勘定	418	419
その他(純額)	587	621
有形固定資産合計	15,297	15,222
無形固定資産		
	506	474
投資その他の資産		
投資有価証券	1,771	1,068
繰延税金資産	1,414	1,274
退職給付に係る資産	542	565
長期預金	4,000	4,000
その他	845	724
貸倒引当金	△176	△175
投資その他の資産合計	8,397	7,456
固定資産合計	24,201	23,152
資産合計	67,253	54,386
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,460	6,552
短期借入金	79	138
1年内返済予定の長期借入金	300	421
未払法人税等	600	170
賞与引当金	—	608
その他	3,012	2,326
流動負債合計	10,453	10,218
固定負債		
長期借入金	365	489
再評価に係る繰延税金負債	111	111
退職給付に係る負債	631	636
株式付与引当金	722	750
役員退職慰労引当金	100	86
その他	321	390
固定負債合計	2,253	2,464
負債合計	12,706	12,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	41,023	41,028
自己株式	△3,184	△15,954
株主資本合計	54,445	41,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205	124
土地再評価差額金	△482	△482
退職給付に係る調整累計額	84	78
その他の包括利益累計額合計	△193	△279
非支配株主持分	294	303
純資産合計	54,546	41,703
負債純資産合計	67,253	54,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)
売上高	8,590	9,319
売上原価	5,278	5,847
売上総利益	3,311	3,472
販売費及び一般管理費		
運賃	556	579
貸倒引当金繰入額	△1	△0
役員報酬	52	56
給料及び手当	654	666
賞与引当金繰入額	222	234
退職給付費用	30	34
株式付与引当金繰入額	14	15
役員退職慰労引当金繰入額	3	3
その他	1,028	1,046
販売費及び一般管理費合計	2,561	2,635
営業利益	750	836
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	3	3
保険事務手数料	1	1
投資有価証券売却益	—	70
補助金収入	66	—
作業くず売却益	4	3
固定資産売却益	33	18
その他	18	26
営業外収益合計	129	129
営業外費用		
支払利息	2	1
売上割引	44	48
その他	4	5
営業外費用合計	51	55
経常利益	829	910
特別利益		
補助金収入	449	—
特別利益合計	449	—
特別損失		
固定資産圧縮損	449	—
特別損失合計	449	—
税金等調整前四半期純利益	829	910
法人税、住民税及び事業税	170	143
法人税等調整額	159	177
法人税等合計	329	320
四半期純利益	499	590
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	484	580

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年6月20日)
四半期純利益	499	590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△80
退職給付に係る調整額	△3	△5
その他の包括利益合計	37	△86
四半期包括利益	537	503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521	494
非支配株主に係る四半期包括利益	15	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,000,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が12,770百万円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が15,954百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年3月21日 至2018年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	省力化機械 及び樹脂成 形用金型	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,584	1,400	281	8,266	324	8,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57	—	148	206	786	992
計	6,641	1,400	430	8,472	1,110	9,582
セグメント利益	655	111	72	838	53	891

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	838
「その他」の区分の利益	53
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△138
棚卸資産の調整額	△0
有形固定資産の調整額	△5
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	750

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年3月21日 至2019年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	省力化機械 及び樹脂成 形用金型	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,937	1,464	541	8,942	376	9,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	1	142	201	844	1,046
計	6,995	1,465	683	9,144	1,221	10,366
セグメント利益	656	118	144	918	69	987

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	918
「その他」の区分の利益	69
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△146
棚卸資産の調整額	△0
有形固定資産の調整額	△8
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	836

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「省力化機械及び樹脂成形用金型」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。